

暖房育苗によるチンゲンサイの抽台防止							
<p>【要約】 <u>チンゲンサイ</u>は15℃より<u>低温</u>で育苗すると収穫期に至る前に<u>抽台</u>し品質が低下する。夜温が15℃以下になる11月～4月に播種する場合には、15℃から20℃に暖房を行った施設で本葉5枚まで育苗し、その後ハウスに定植して栽培すると直播体系で問題となる抽台を防止できる。</p>							
園芸研究所・野菜花き部・野菜栽培研究室					連絡先	092-922-4111	
部会名	園 芸	専 門	栽 培	対 象	葉菜類	分類	普及

【背景・ねらい】

チンゲンサイは栽培しやすい軟弱野菜として都市近郊野菜産地に定着し、最近5カ年間に面積が約3倍増加してきた。ハウスに直播し周年的に生産されているが、春に抽台がみられ問題となっている。最近、移植栽培法も一部に導入されつつあるので、冬季の育苗温度を制御し抽台を防止する技術を確立する。

【成果の内容・特徴】

- ①主要品種「青帝」は育苗時の夜温が15℃未満になると抽台がみられ、収穫時の苔長は10cmを越し品質が低下する（表1）。
- ②夜温が15℃以下となる11月から4月は抽台を防止するために、暖房、保温を行って夜温を15℃に保つか又は地温を20℃に保った温床で育苗を行う（表2、3）。
- ③暖房育苗した5葉の苗をハウス内に定植すると苔の伸長が抑えられ、安定した栽培が可能となる。小型トンネル栽培では、苔が伸長しやすいので早めに収穫する。露地栽培では抽台するため生産は不可能である（表2、3）。

【成果の活用面・留意点】

- ①暖房機を装備した種苗センターや、温床を持つ共同育苗センター、個別農家で利用する。

[具体的データ]

表1 育苗夜温と抽台(平成3年)

育苗 夜温	株重	抽台 率	苔長
℃	g	%	cm
無加温	192	71	12.8
13	163	23	9.6
17	143	0	5.4

注)①供試品種：青帝 (以下同じ)

②播種期：11月19日、

定植期：12月19日

③育苗はセル数200のトレイを用いた (以下同じ)

④調査：2月27日

表2 育苗夜温及び栽培条件と生育及び苔長 (平成4年)

育苗夜温	育苗		ガラスハウス			小型トンネル			露地		
	日数	日数	株重	苔長	日数	株重	苔長	日数	株重	苔長	
	日	日	g	cm	日	g	cm	日	g	cm	
10℃	41	53	152	7.4	56	248	17.2	74	79	14.2	
15℃	38	53	193	3.2	59	262	7.8	77	85	10.9	
20℃	38	57	164	3.6	59	249	7.9	77	104	11.7	

注)①播種期：12月4日 ②定植時の苗令：5葉

③日数：定植から収穫までの日数

表3 育苗時の地温及び栽培条件と生育及び苔長 (平成4年)

温床 冷床	育苗 地温	育苗		ガラスハウス			小型トンネル			露地		
		日数	日数	株重	苔長	日数	株重	苔長	日数	株重	苔長	
		日	日	g	cm	日	g	cm	日	g	cm	
冷床育苗		41	53	183	15.8	57	224	28.3	78	132	30.0	
温床育苗	15℃	41	53	203	9.1	57	240	12.7	78	110	22.2	
温床育苗	20℃	38	56	292	4.6	60	238	8.8	81	139	17.5	

注)①播種期：12月4日 ②定植時の苗令：5葉

③日数：定植から収穫までの日数

[その他]

研究課題名：チンゲンサイの栽培条件と節間の伸長

予算区分：経常

研究期間：平成4年度 (平成3~4年)

研究担当者：月時和隆、山本幸彦、小野剛士、豆塚茂実

発表論文等：平成3~4年度園芸研究所野菜花き部野菜栽培研究室試験成績書